



ビジネス
パートナー

サプライチェーン・マネジメント

安心してお使いいただける高い品質の製品を、安定的にお届けし続けていくために
お取引先さまは重要なパートナーと考え、関連法令を遵守し公正でオープンな取引を通じて
信頼関係の確立と相互の発展を目指しています。

責任ある調達

▶ パートナーとの信頼関係の構築

当社グループは、資材の調達にあたり、関連法令を遵守するとともに、公正かつオープンな取引を通して、パートナーとしての信頼関係の構築を推進すること、また、CSRや環境保全を重視した調達を推進し、持続可能な社会の発展に向けた取組みを展開することを購買方針として定めています。

購買方針

- 1 法令と社会規範の遵守
- 2 環境保全
- 3 公正・公平な取引
- 4 品質の確保と競争力ある適正な価格の追求
- 5 信頼関係に基づく相互発展
- 6 情報の管理保護
- 7 CSRを重視した調達活動の推進

この方針に基づき、お互いへの信頼を深め、ともに持続可能な社会の実現に協力していくためのさまざまな取組みを進めています。まず、年に一度「お取引先懇談会」を開催し、当社グループの現況や戦略、購買方針、CSRへの取組みなどを説明しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と関係者の皆さまの安全確保を最優先に考え、お取引先懇談会に代えて「CSR活動の取組みに関するご協力依頼」を送り、当社のCSR活動について説明しました。また、「品質会議」を開催し、品質や製造工程に関する情報共有や課題の検討を行うほか、お取引先さまに品質改善事例を発表していただく「品質向上活動発表会」や「基板品質方針説明会」などを開催し、お取引先さま間の情報共有を図る場として活用いただいています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止とお取引先さまの安全確保を最優先に考え、オンライン形式で開催しました。さらに、当社の部品受入部門による定期的なお取引先さま訪問も実施し、製造工程の現地監査や改善のアドバイス、作業環境の改善提案などを行っています。

当社グループ内においては、公平かつオープンな取引の徹底とサプライチェーン全体におけるCSRの推進に向けた従業員の教育に注力しており、国内外の調達担当者を対象にeラーニング(3ヶ国語に対応)を活用した研修を実施しています。eラーニングは、下請法やCSR調達などのカリキュラムから構成され、担当者のスキルアップや知識の習得につなげています。2020年度は、国内外の調達担当者約190名に対して、下請法やCSR調達に関するeラーニングを実施しました。



お取引先懇談会(2019年度)



協力企業懇談会(光栄電子工業(蘇州)有限公司)(2019年度)

どこから来て、
どこを目指すのか

どう進むのか
(経営戦略)

特集
(CSV取組み)

どう持続するのか

どう経営するのか

データセクション

CSR調達

2014年3月、CSR調達のさらなる推進にあたり、「グローリーグループCSR調達推進ガイドブック」を作成しました(2018年4月改訂)。当社グループのCSRについての基本姿勢を始め、人権・労働・安全衛生や腐敗防止、環境への配慮等に関するお取引先さまへの依頼事項などを明記し、お取引先さまとともに、サプライチェーンにおけるCSRの取組みを加速させています。特に、改訂版のガイドブックでは、人権尊重の徹底を図るため、児童労働や強制労働の禁止、適切な賃金支払い、労働時間の管理など、人権尊重に関する項目を設け、お取引先さまとともに遵守に向けた取組みを進めています。

加えて、2015年に英国で施行された「英国現代奴隷法」に基づき、Glory Global Solutions (International) Ltd.では、ビジネスパートナーとともに、強制労働や人身売買等を防止するための活動について、取締役会で決議した声明を公表しています。2020年度は、児童労働や強制労働に関わる事案は発生しておりません。

また、当社グループは、電子機器業界を中心としたサプライチェーンにおけるCSR推進団体であるRBA (Responsible Business Alliance: I&EICC)の行動規範への準拠に努めるとともに、紛争鉱物調査への対応を進めています。

▶ CSR調達推進に向けた取組み

当社グループでは、既存のお取引先さまにおけるCSRの取組み状況を確認するために、「CSR自主点検チェックリスト」による調査を定期的に行っています。2020年度は、全購入金額の約80%にあたる国内一次お取引先さま433社に対して調査を行い、回答いただいた426社に結果をフィードバックしました(回答率:98%)。加えて、グローリープロダクツ株式会社の国内一次お取引先さま60社(回答率:100%)や、GLORY IPO Asia Ltd.の一次お取引先さま65社(回答率:92%)、Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.の一次お取引先さま17社(回答率:100%)に対しても、同様の調査を実施し結果のフィードバックを行いました。

また、新規お取引にあたっては、法令遵守や環境保全、CSR調達などを掲げた購買方針をご理解いただくとともに、「グローリーグループCSR調達推進ガイドブック」や「グリーン調達基準書」への遵守を求めています。加えて、「CSR自主点検チェックリスト」への協力等を含む「CSR調達に関する覚書」を締結するなど、お取引先さまと連携し、持続可能な調達の推進に取り組んでいます。

WEB グローリーグループCSR調達推進ガイドブック 第2版

https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/glory_csrpurchase_guidebook_jp2.pdf

WEB CSR自主点検チェックリスト

<https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/checklist.xls>

WEB CSR調達推進ガイドブックへの同意に関するお願い

https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/csr_format.xls

▶ グリーン調達の推進

当社グループは、調達活動における環境配慮への基本的な考え方として、「グリーン調達基準書」を制定しています。環境配慮型製品の提供のために、お取引先さまのご協力の下、環境負荷の少ない資材や部品などの調達に努めています。

また、環境情報提供の一環として、お取引先さまからの納入品については含有化学物質調査を行っており、「アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)」が提供する「chemSHERPA」により実施しています。

WEB グリーン調達基準書 第21版

https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/gr_guide_jp.pdf

WEB 指定化学物質リスト 第26版

https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/gr_list_jp.pdf

▶ お取引先コンプライアンス・ホットラインの運用

当社グループは、お取引先さまとの透明かつ公正な購買取引をより一層推進することを目的に、お取引先さまに対するコンプライアンス違反行為について、お取引先さまより通報いただく窓口「お取引先コンプライアンス・ホットライン」を開設しています。本窓口への通報は、通報いただいたお取引先さまに対して、通報自体理由とする不利益な取り扱いが発生しないように、通報の対象となる調達担当部門から独立した当社の法務部にて受け付け、事実関係を調査したうえで適切な対応を行っています。なお、2020年度は、お取引先さまに対するコンプライアンス違反事例は、発生していません。

WEB お取引先コンプライアンス・ホットライン

https://www.glory.co.jp/csr/society/supplychain_management/